

## 編集後記

去る3月、鈴木季直先生が他界されました。こんな日が来るなんて夢にも思っておりませんでした。あのヒョイと現れ、みんなを笑顔にして、そしてスーと居なくなる、そんなお姿を拝見できなくなる日が来るとは。総合理学研究所の事務室に、今にもニコニコしながらヒョイと現れるような、そんな気がしてなりません。先日、長年お世話になっている印刷所の方が、打ち合わせの中で「季直先生の手紙がないのが寂しい」とおっしゃられていました。それが気になって、私の手元にあった2008年以降の「Science Journal of Kanagawa University」を見てみたところ、すべての巻に先生の論文が掲載されていました。ご定年後、「卒業生の残した研究成果を少しずつまとめるんだ」とおっしゃっていたことは覚えていたのですが、それ以前から、毎年、「Science Journal of Kanagawa University」に、共同研究助成論文としてではなく、ご自身の研究成果を発表されていたことは知りませんでした。長きに亘って総合理学研究所の所長、そして、さらに長きに亘って「Science Journal of Kanagawa University」の編集委員長を務められ、多くの皆様もご存じのように定年退職後も実質的な編集委員長でした。2005年、総合理学研究所の機関誌としてスタートした「Science Journal of Kanagawa University」が、掲載論文の体裁を整えるなどの改編を重ねることで学術雑誌として認められるに至ったのは、ひとえに鈴木季直先生のご尽力によるものです。そんな先生を失った後に完成した本巻を、「Science

Journal of Kanagawa University」の生みの親であり、育ての親でもある鈴木季直先生に捧げ、改めて感謝申し上げます。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

ここからは、鈴木季直先生がご定年の年に記された編集後記(26, 2015)からの抜粋です。

さて、これまでの本誌の編集について振り返りますと、書式や投稿規程の策定から始まり、その後の点検と改訂、論文範疇の追加、電子媒体化、なによりも各巻ごとの編集実務などなど、大変なことが続きました。しかし、昨今では、原稿書式が電子配信され、皆さんが注意深く書式に則り原稿を作成して下さるようになり、投稿論文の体裁を規定に沿うように整える編集作業もかなり容易になりましたので、最早、実務的な面については何も問題ありません。10年を経て、なお気になることは論文の審査制度であります。一時は、編集委員会で制度について検討致しましたが、ある程度の自己責任において研究成果を埋もれさすことなく公表できる科学誌があることは所員にとって貴重であるとの判断から、今しばらくは現状維持を進めるということになりました。当初から、本誌が若手研究者や大学院生の研究発表の場となることも目標の一つでありましたが、「まずは原稿作成と論文発表に取り組んでみる」ということが比較的容易にできる現在の編集制度は、後進に対する教育的側面においても有意義に作用しているのではないかと思います。

〔 神奈川大学総合理学研究所 〕  
〔 理学部・化学科 川本達也 〕

神奈川大学理学誌編集委員会 委員長 川本達也	化学科	Science Journal of Kanagawa University Editor-in-Chief Tatsuya Kawamoto	Department of Chemistry
委員 安積良隆	生物科学科	Editors Yoshitaka Azumi	Department of Biological Sciences
阿部吉弘	数理・物理学科	Yoshihiro Abe	Department of Mathematics and Physics
井上和仁	生物科学科	Kazuhito Inoue	Department of Biological Sciences
加部義夫	化学科	Yoshio Kabe	Department of Chemistry
川東 健	数理・物理学科	Ken Kawahigashi	Department of Mathematics and Physics
桑原恒夫	情報科学科	Tsuneo Kuwabara	Department of Information Sciences
張 善俊	情報科学科	Shanjun Zhang	Department of Information Sciences
堀 久男	化学科	Hisao Hori	Department of Chemistry

### Science Journal of Kanagawa University Vol. 33 (Sci. J. Kanagawa Univ.)

発行日	2022年7月30日
編集者	Science Journal of Kanagawa University 編集委員会
発行者	神奈川大学総合理学研究所
発行所	〒259-1293 平塚市土屋 2946 Tel. 0463-59-4111 (内 2500) Fax. 0463-58-9684
印刷所	光和アドバンス株式会社